

解答

- 一 問一 ウ
 問二 エ
 問三 ① 親と子の心の未分化状態
 ② やってほしいことを言葉で説明する能力
 問四 イ
 問五 ウ
 問六 大人にきちゝということ
 問七 一対一の人間同士として向き合う（という関係。）
 問八 エ
 問九 イ

- 二 問一 エ
 問二 イ
 問三 エ
 問四 ウ
 問五 ウ
 問六 ① 施設にもとされたくないというおそれと、新しくできた家族が好きで、大切に思う気持ち。
 ② ア
 問七 イ

三 問一 雲（くも）

四 友達から信頼されるために必要なことは、ありのままの自分でつきあうことだと思う。意見がちがったり趣味が合わなかったりしても、お互いの個性を尊重し合い、誠実に向き合っていくことで信頼関係は生まれると思う。

- 五 1 拡張 2 減税 3 臨（む） 4 郵送 5 創造
 六 1 あまど 2 ただ（ちに） 3 だんぺん 4 ふうふ 5 がいとう

解説

一 問三 次の段落に、大きくなるにつれて「やってほしいことを言葉で説明しなさいと言われる。」とあり、幼児期はこの能力が備わっていなくてもよいが、大きくなると必要とされてくるということがわかります。

二 問六 大地は、千波に火事の原因は大地だと言われたとき、「ぼくはもどされる」「もどされる」と泣いてばたばた暴れ、施設にもどされることをおそれている様子が描かれています。また、本文の後半で大地が寝言で「お母さん」といつているのと聞き、千波は大地のことを「必死にわが家という土壌の上で根をはろうとがんばっている」「苗木のようだ」と感じており、大地が新しい家族を大切に思っていると気づき、けなげにがんばっている大地をいとしく思った様子が描かれています。